

2020年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成16年6月1日
		指定年月日	令和1年6月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3		
所在地	( 246-0038 ) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢4-28-8		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年12月26日	評価結果 市町村受理日	令和3年6月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/">http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様と一緒に出来る、笑えることを一番に考えております。お一人ごとの個性に合わせた支援を行い、良い意味でのわがままを言える関係になりたいと考えています。その為には職員同士の関係も良好でなくてはならない、と思い事業所理念とは別に『職員理念』を掲げました。大きなイベントだけでなく、日々小さなことでもいいので楽しめる、楽しみな出来事がある生活環境を目指しています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年1月23日	評価機関 評価決定日	令和3年5月20日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄線「いずみ野」駅あるいは「瀬谷」駅からのバスで「ひなた山バザール前」から徒歩5分ほどの住宅地にあります。近隣には小学校、畑、公園がある住環境です。事業所は道路より一段高くなっています。

＜優れている点＞  
法人理念を具体化する形で事業所理念が作られており、『「明るく楽しいホーム創り」のために、1日10回笑わせよう。』となっています。家族から離れて生活している環境であり、職員がもう一つの家族となり、生活に安心感と活力をもたらせようとしています。玄関には、外からも見えるようにAEDを設置しており、事業所が地域に開かれている姿勢を表しています。今回はコロナ感染予防の為、訪問ではなく、ZOOMを活用したオンラインにより事業所内の確認でしたが、居間や居室は広くゆとりも感じられます。

＜工夫点＞  
職員の意識を高める意図もあり、職員の理念も持って、月ごとの事業目標も明確にしています。トイレの表示に「厠(かわや)」としてあるところもあり、厠と言う入居者の存在にも配慮した表現に成っています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ステーション内と2Fキッチンに掲示しています。1日10回、心から笑って頂く事で免疫力のアップも図っています。職員理念もオリジナルで考えています。職員の気持ちが上がる事で良いケアに繋がると思っています。	法人理念に加え、事業所理念を作っています。事業所理念は実践的で入居者に笑ってもらうことを目標にしています。職員も一緒に笑いあえることでも一つの家族を目指しています。職員理念もあり、互いに協力し合っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為、本年度は地域交流に参加しておりません。地域行事も中止になっています。	町内会に加入し、コロナ禍の前は地域の夏祭りに出かけたり、ホームの納涼会や消防訓練、「あんしんヨガ」や「NOAエクササイズ」などの開催案内もしていましたが、中断しています。地域ケアプラザの職員の参加もありました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会やキャラバンメイト、地域緩和ケア研修へ参加しておりましたが本年の研修は感染防止の為、中止されています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度奇数月に開催。緊急事態宣言後は十分な広さの会議場が確保できず開催を中止しております。	通常は、2ヶ月に1度開催し、社会福祉協議会会長、町内会会長、民生委員、地域ケアプラザ職員などの参加を得ていましたが、今年度は報告のみとなっています。以前の提案で近隣事業所との救命講習、避難訓練を実施しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には区役所に出向いております。生活支援課担当員の訪問は感染防止の為、ご遠慮いただいております。	区役所高齢福祉課に必要な時は出かけています。コロナ禍の中で、グループホームでの生活において申請可能な支援などの相談をしています。瀬谷区グループホーム連絡会や消防の救急搬送、感染症対策の講習会に参加しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	隔月にて「身体拘束廃止委員会」を設けております。 研修は年2回以上行っています。	隔月の全体会議の前に身体拘束廃止について研修を行っています。必要と判断した時には、事前にアンケートを行い意識の確認をしています。職員の理解度の確認のために定期的にテストを行っています。研修用のマニュアルも用意しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	「身体拘束委員会」とは別に「高齢者虐待防止委員会」を設け隔月で開催しています。 職員同士で注意しあうなど虐待に繋がらないよう心がけています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な際には、すぐに対応できる体制を整えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分な時間を取り丁寧に説明を行っています。 疑問点は必ずお尋ねし可能な範囲でお答えしながらご理解、ご納得を頂いております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	本年度は感染防止対策の為、開催中止しております。ケアマネージャーと分担し、電話にてご様子をお伝えしています。面会が可能な時期はお時間を頂き、お話を伺っております。	今年度は感染症対策のため家族会を開催していませんが、法人や事業所が作成した独自のアンケートを実施しています。意見や要望がある時には面会時や電話でもゆっくりと時間をとり相談に乗っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員全員で情報共有できる環境を目指しています。 ソーシャルディスタンスを保つため、各フロアごとの会議を行っておりますが会議録の掲示や代表者4名のみでの全体会議を行っています。	開かれた場としての職員会議での意見を求めています。内容により発言が難しい場合は個別面談での聞き取っています。事業所の求人を紹介するのに、書面だけではなく、携帯端末の利用をという意見があり、求人範囲を拡大しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出勤時に笑顔を保てるような声掛けをしています。 当ホーム職員理念を掲げ、お互いを思いやり楽しく働ける環境を提供しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本部からの研修予定表の掲示、県や市からZoom研修も掲示し希望職員には受けて頂いています。 日々のケアではその都度、指導・アドバイスをを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	区で行われている委員会・研修会に参加し同業者との交流を行っていましたが、今期は感染防止の為アンケートやZoomで交流を図っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前調査にてご本人・ご家族様と対話をさせて頂きその際にホームでの生活に於いてのご希望を伺っています。 入居後はコミュニケーションを図りながら御本人のお気持ちを尊重し、安心して生活して頂ける様に支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学時や入居前面談にて入居の経緯や不安、心配事などを伺っています。その後も、いつでもご連絡頂ける様に体制を整えお応えできるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居初期は、不安や戸惑いもあり遠慮されてしまうことも多いので、ご様子に注意しお気持ちを汲み取りながら支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中でのかかわりを大切にしています。お得意なことを伸ばし、興味のあることには共感・理解できる様に関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	「ブログ」や「ひとこと通信」にて皆様のご様子をお伝えしております。本年度は感染防止の為、面会制限がありましたので電話での面会やお手紙を用いました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	文通や電話など交流が絶えないよう配慮しています。面会停止期間が長いのでご家族様と日時を調整し、ゆっくり会話を楽しめるよう配慮しています。	今年度是对応の難しさがあります。本人・家族にこれまでの境遇を聞き、本人との会話の際に、きちんと話に同調できる体制を整えています。家族への連絡で、写真入りのはがきやクリスマスカードを送ったり、ブログもこまめに更新して支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎月合同レクリエーションを行っていましたが、感染防止の為現在は中止しております。個別に親しい利用者様同士の交流については双方の御気持ちを確かめた上で10分程度に留めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	本年度は転居の方がおりませんが、退去の方には一区切りがついた頃にお手紙やお電話を入れさせて頂いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人ごとのコミュニケーションを心掛けています。すべてを叶えることは難しいのですが、出来る限り近づけるようご本人と一緒に考えております。職員全員での情報共有も行っています。	入浴時など、周囲に気兼ねをしない気持ちが開放的になる環境で、さりげない話から聞き取っています。本人・家族の意向を可能な限り反映させるように取り組んでいます。職員の情報共有に向け、聞き取った内容を書面に記載し見やすくなっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前面談にて、ご本人やご家族から頂いた情報を共有し安心してご入居頂ける環境に近づけています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴や診療情報を把握しています。健康管理表や生活記録からも日々の状況の変化などに気付ける様に申し送りを行い、必要に応じて医療との連携を取っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定例カンファレンスを開催し、状態把握やケアの方向性を話し合っています。介護計画作成時には御本人、ご家族様からの意向を伺った上で作成しております。心身の状況変化が見られた際は都度見直しております。	全入居者をユニット職員全員で支援するという姿勢です。アセスメント、モニタリング、カンファレンスを循環させています。見直しは最低でも3ヶ月に1回行っています。その後家族に介護計画を送り電話で説明しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録・申し送り、健康状態は健康管理表に記載し職員間で情報共有を行っています。気付いたことは連絡帳を用いて詳細な情報共有に努めています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	感染予防対策の為、自社シニアセラピーと健康増進課によるエクササイズを行っています。他者の訪問リハビリマッサージは調整中です。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	個人購読新聞や宅配牛乳サービス、訪問理美容、介護タクシーを利用しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時にかかりつけ医についての説明を行っています。ご了解を頂いてから事業所の訪問診療に受診・契約を頂いています。外部受診の必要な際はご本人・ご家族の意向に沿って行っています。	本人の状態にもよりますが、原則として協力医療機関をかかりつけ医としています。日々の状態変化は、健康管理表を活用して訪問診療や訪問看護、提携薬局とも情報共有ができています。受診結果は、家族に電話連絡をしています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、医療連携看護師の訪問があります。ご利用者様の日々の様子をお伝えし必要に応じて協力医療機関への連携を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様、病院と連携し必要な情報提供を行っています。感染防止措置により面会が困難になっており、その間は入院中のご様子を病院よりお聞きしご家族様にお伝えしております。退院前にはご一緒にカンファレンスに出席して頂いております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の対応にかかわる指針」の説明を行っています。状況に応じて医療機関とご家族様との話し合いを行い十分納得された上、ご本人・ご家族・職員と連携し支援しております。	重度化及び終末期の段階で家族の希望を聴き、望まれる支援の体制を整えています。本人の尊厳を重視し、望む生活となる支援をしています。チームで連携し、記録や申し送りは密に行い、夜間帯でも医療機関と連絡がとれる様になっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	普通救命講習を全職員が取得できるよう講習会に順次参加しており、定期的に再講習を受けております。年に一度は消防署に協力を得て救命講習を行っており急変や搬送時に備えています。マニュアルを整備し職員へ周知しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得ての訓練を行っていましたが感染防止の為、本年度は1回予定しております。夜間訓練に関しましては職員のみで訓練し消防署に提出しております。	避難訓練は、回覧板を自治会に回し、町内会長や近隣住民の参加があります。また、消火活動や利用者の避難への協力もあります。全職員が救命講習を受け急変時に備えています。利用者や職員の3日分の備蓄品は事業所内外に分け、一覧表も掲示しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様のお気持ちを優先し、その方に合わせたお声がけを行っています。お一人でゆったりと過ごされたいご希望の時は環境を整えた上、その時間も大切にしております。	一人ひとりの自尊心を守り、気持ちを尊重して寄り添う事を基本に、状況に合わせた言葉かけを1日の挨拶から始めています。職員は対応を連絡ノートや申し送りで共有し、個人情報鍵付きロッカーに保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来る限りご利用者様に決めて頂ける様に支援しています。 自己決定や選択方法など、その方に合った選択肢を提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理なくご自身のペースにてお好きな事を、お好みの場所で過ごして頂ける様に環境を整え支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧品や髭剃りなど、お好みで継続して頂いております。 更衣時には、衣類を選んで頂き、お好みの組み合わせを考えて頂いたりと選択肢を増やせるよう努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しみになる環境を心掛けています。利用者様と職員との会話や落ち着いた雰囲気作りを行っています。 イベント時やお誕生日会などは食事やおやつのリクエストを伺い出来る限りで提供しています。	献立には栄養価や塩分も記載してあります。時には家庭菜園の野菜も食卓に上り、職員も共に食事をしています。刻み食や流動食の人もいます。気分転換にテーブルのレイアウトも変更しています。出来る利用者と一緒にテーブル拭きや食器拭きをしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は記録に記入し、確認、把握を行っています。 身体状態や状況に合わせ、食事形態や提供内容をその都度合わせています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、ご利用者様の状況に合わせたケアを行っており必要な方には介助をさせて頂き清潔を保っています。 歯科衛生士は月4回、医師は月2回訪問があり口腔状態を観察し必要に応じた治療や調整を行っています。唾液腺や顎関節マッサージも行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に記載し個々の排泄パターンを把握・確認しております。ご利用者様に合った排泄ケアを支援できる様お声がけや誘導を行い自然な排泄を導ける様心がけています。	排泄表を利用し、本人の視野に入っからの声かけ誘導を行っています。日中と夜間で吸収量の違うパットを利用し、トイレでの排泄を目指しています。本人の自立を妨げないように、ひとり一人に合った排泄介助を心がけています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表にて排便日・排泄量の確認を行っています。 便秘予防の為、水分摂取や体操・運動を取り入れ自然排便を促しています。 必要に応じて医療機関へ相談し下剤なども処方して頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日、入浴準備をしております。 体調や安全面に配慮しながらご利用者様お一人ごとに合わせた支援を行っています。	曜日や時間に関係なく、週2回以上の入浴をするように調整しています。湯船の湯は午前午後に入れ替え、かけ流しにしています。リフト浴もあります。のんびりとマイペースで入浴できる配慮や、ゆず湯、桜、バラなどを浮かべ、楽しめる工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご自身の生活リズムを大切に、無理なくゆっくりと休んでいただける環境を提供しております。 照明や温度管理、リラクサアロマ、あんしんヨガの呼吸法等も用いて配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一覧表や個別ファイルを作成し、職員が把握できるようになっています。 不明点がある場合は医師・看護師・薬剤師などに連絡が取れる体制ができております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お一人ごとのお得意なこと、出来ることを見出し、把握し日常生活に取り入れています。 同じご趣味の方とのお趣味のお披露目や、得意な事は指導をして頂き意欲に繋げています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	感染防止の為、外出の制限をおこなっております。敷地内のみ外気浴・家庭菜園のお手入れにご協力を頂いています。	敷地内の駐車場にテーブルなどをセットし、外気浴をしながら湯茶を楽しんでいます。家庭菜園では、苗の植え付けから手入れ、収穫までを一緒に楽しんでいます。コロナ禍前は、家族と定期的に外出する人や初詣などの外出計画も支援していました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身での所持はされていません。お買い物など必要な際には何時でもご購入できる体制を取り、ご不便を感じない様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	面会に制限がかかっている為、ご家族様と連絡を取りご都合を合わせて電話面会を実施しております。個人携帯やお手紙でのやりとりも支援させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアの壁面にはご利用者様と一緒に季節に合わせた飾りつけを作成しております。塗り絵や書道などの作品の展示も行っています。	オープンキッチンから広いリビングが見渡せ、危険がないように家具を配置しています。利用者と一緒に掃除を行い、展示物のレイアウトを考え、毎日楽しくのびのびと生活できる環境を作っています。月2回開催の1・2階合同のレクリエーションに、みんなの笑顔がこぼれています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアには大きめのソファを設置し、テレビ鑑賞やご利用者様同士の談話、ひなたぼっこ等でおくつろぎ頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には馴染みのある寝具や私物など危険が予測されない範囲でお持ちいただきしております。使い慣れたものやお仏壇もお持ちいただき入居前と変わらぬ環境での生活を提供いたしております。	居室には車椅子対応の洗面化粧台があり、心地良く過ごせるように家具を配置しています。三味線、釣り具、携帯電話など、使い慣れたもの、好みのものを持参しています。本人がリラックスできる環境で、プライバシーも保たれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各居室への名札や共有スペースの表示、プライバシー保護の小窓のカーテン等の工夫をしております。危険箇所へはクッション材や緩衝材を使用し安全と安心を提供しております。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ステーション内と2Fキッチンに掲示しています。1日10回、心から笑って頂く事で免疫力のアップも図っています。職員理念もオリジナルで考えています。職員の気持ちが上がる事で良いケアに繋がると思っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為、本年度は地域交流に参加しておりません。地域行事も中止になっています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会やキャラバンメイト、地域緩和ケア研修へ参加していましたが今年の研修は感染防止の為、中止されています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度奇数月に開催。緊急事態宣言後は十分な広さの会議場が確保できず開催を中止しております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には区役所に出向いております。感染防止の為、必要性が低い事柄に関しては生活支援担当員の訪問をご遠慮いただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	隔月にて「身体拘束廃止委員会」を設けております。 研修は年2回以上行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	「身体拘束委員会」とは別に「高齢者虐待防止委員会」を設け隔月で開催しています。 職員同士で注意しあうなど虐待に繋がらないよう心がけています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な際には、すぐに対応できる様体制を整えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分な時間を取り丁寧に説明を行っています。 疑問点は必ずお尋ねし可能な範囲でお答えしながらご理解、ご納得を頂いております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	本年度は感染防止対策の為、開催中止しております。ケアマネージャーと分担し、電話にてご様子をお伝えしています。面会が可能な時期はお時間を頂き、お話を伺っております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員全員で情報共有できる環境を目指しています。 ソーシャルディスタンスを保つため、各フロアごとの会議を行っておりますが会議録の掲示や代表者4名のみでの全体会議を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出勤時に笑顔を保てるような声掛けをしています。 当ホーム職員理念を掲げ、お互いを思いやり楽しく働ける環境を提供しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本部からの研修予定表の掲示、県や市からZoom研修も掲示し希望職員には受けて頂いています。 日々のケアではその都度、指導・アドバイスをを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	区で行われている委員会・研修会に参加し同業者との交流を行っていましたが、今期は感染防止の為アンケートやZoomで交流を図っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前調査にてご本人・ご家族様と対話をさせて頂きその際にホームでの生活に於いてのご希望を伺っています。 入居後はコミュニケーションを図りながら御本人のお気持ちを尊重し、安心して生活して頂ける様に支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学時や入居前面談にて入居の経緯や不安、心配事などを伺っています。その後も、いつでもご連絡頂ける様に体制を整えご要望にお応えできるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居初期は、不安や戸惑いもあり遠慮されてしまうことも多いのでお気持ちを汲み取りながら支援を行っています。他者様との関わりもご自身のペースに合わせられる様にしております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中でのかかわりを大切にしています。お得意なことを伸ばし、興味のあることには共感・理解できる様に関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	「ブログ」や「ひとこと通信」にて皆様のご様子をお伝えしております。本年度は感染防止の為、面会制限がありましたので電話での面会やお手紙を用いました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	文通や電話など交流が絶えないよう配慮しています。面会停止期間が長いのでご家族様と日時を調整し、ゆっくり会話を楽しめるよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎月合同レクリエーションを行っていましたが、感染防止の為現在は中止しております。個別に親しい利用者様同士の交流については双方の御気持ちを確かめた上で10分程度に留めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	本年度は転居の方がおりませんが、退去の方には一区切りがついた頃にお手紙やお電話を入れさせて頂いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人ごとのコミュニケーションを心掛けています。状況によりパーソンセンタードケアやユマニチュードを用いています。得た情報は職員全員で共有を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前面談にて、ご本人やご家族から頂いた情報を事前にカンファレンスを用い共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴や診療情報を把握しています。健康管理表や生活記録からも日々の状況の変化などに気付ける様に申し送りを行い、必要に応じて医療との連携を取っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定例カンファレンスを開催し、状態把握やケアの方向性を話し合っています。介護計画作成時には御本人、ご家族様からの意向を伺った上で作成しております。心身の状況変化が見られた際は都度見直しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録・申し送り、健康状態は健康管理表に記載し職員間で情報共有を行っています。気付いたことは連絡帳を用いて詳細な情報共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	感染予防対策の為、自社シニアセラピーと健康増進課によるエクササイズを行っています。他者の訪問リハビリマッサージは調整中です。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	個人購読新聞や宅配牛乳サービス、訪問理美容、介護タクシーを利用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時にかかりつけ医についての説明を行っています。ご了解を頂いてから事業所の訪問診療に受診・契約を頂いています。外部受診の必要な際はご本人・ご家族の意向に沿って行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、医療連携看護師の訪問があります。ご利用者様の日々の様子をお伝えし必要に応じて協力医療機関への連携を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様、病院と連携し必要な情報提供を行っています。感染防止措置により面会が困難になっており、その間は入院中のご様子を病院よりお聞きしご家族様にお伝えしております。退院前にはご一緒にカンファレンスに出席して頂いております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の対応にかかわる指針」の説明を行っています。状況に応じて医療機関とご家族様との話し合いを行い十分納得された上、ご本人・ご家族・職員と連携し支援しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	普通救命講習を全職員が取得できるよう講習会に順次参加しており、定期的に再講習を受けております。年一度は消防署に協力を得て救命講習を行っており急変や搬送時に備えています。マニュアルを整備し職員へ周知しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得ての訓練を行っていましたが感染防止の為、本年度は1回予定しております。夜間訓練に関しましては職員のみで訓練し消防署に提出しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様のお気持ちを優先し、その方に合わせたお声がけを行っています。お一人でゆったりと過ごされたいご希望の時は環境を整えた上、その時間も大切にしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来る限りご利用者様に決めて頂ける様に支援しています。 自己決定や選択方法など、その方に合った選択肢を提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理なくご自身のペースにてお好きな事を、お好みの場所で過ごして頂ける様に環境を整え支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧品や髭剃りなど、お好みで継続して頂いております。 更衣時には、衣類を選んで頂き、お好みの組み合わせを考えて頂いたりと選択肢を増やせるよう努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しみになる環境を心掛けています。利用者様と職員との会話や落ち着いた雰囲気作りを行っています。 イベント時やお誕生日会などは食事やおやつのリクエストを伺い出来る限りで提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は記録に記入し、確認、把握を行っています。 身体状態や状況に合わせ、食事形態や提供内容の変更も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、ご利用者様の状況に合わせたケアを行っており必要な方には介助をさせて頂き清潔を保っています。 歯科衛生士は月4回、医師は月2回訪問があり口腔状態を観察し必要に応じた治療や調整を行っています。唾液腺や顎関節マッサージも行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に記載し個々の排泄パターンを把握・確認しております。ご利用者様に合った排泄ケアを支援できる様お声がけや誘導を行い自然な排泄を導ける様心がけています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表にて排便日・排泄量の確認を行っています。 便秘予防の為、水分摂取や体操・運動を取り入れ自然排便を促しています。 必要に応じて医療機関へ相談し下剤なども処方して頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日、入浴準備をしております。 体調や安全面に配慮しながらご利用者様お一人ごとに合わせた支援方法を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご自身の生活リズムを大切に、無理なくゆっくりと休んでいただける環境を提供しております。 照明や温度管理、リラクサアロマ、あんしんヨガの呼吸法等も用いて配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一覧表や個別ファイルを作成し、職員が把握できるようになっています。 不明点がある場合は医師・看護師・薬剤師などに連絡が取れる体制ができております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お一人ごとのお得意なこと、出来ることを見出し、把握し日常生活に取り入れています。 同じご趣味の方とのお趣味のお披露目や、得意な事は指導をして頂き意欲に繋げています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	感染防止の為、外出の制限をおこなっております。敷地内のみ外気浴・家庭菜園のお手入れにご協力を頂いています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身での所持はされていません。お買い物など必要な際には何時でもご購入できる体制を取り、ご不便を感じない様に支援しております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	面会に制限がかかっている為、ご家族様と連絡を取りご都合を合わせて電話面会を実施しております。個人携帯やお手紙でのやりとりも支援させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアの壁面にはご利用者様と一緒に季節に合わせた飾りつけを作成しております。塗り絵や書道などの作品の展示も行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアには大きめのソファを設置し、テレビ鑑賞やご利用者様同士の談話、ひなたぼっこ等でおくつろぎ頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には馴染みのある寝具や私物など危険が予測されない範囲でお持ちいただきしております。使い慣れたものやお仏壇もお持ちいただき入居前と変わらぬ環境での生活を提供いたしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各居室への名札や共有スペースの表示、プライバシー保護の小窓のカーテン等の工夫をしております。危険箇所へはクッション材や緩衝材を使用し安全と安心を提供しております。		

2020年度

## 目標達成計画

事業所名 : グループホームみんなの家・横浜宮沢3

作成日 : 2021年 6月 6日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議	コロナ禍の中で対面での会議が困難であったため、中止するか文書でのやり取りしかできていない。	広い会議室等を借りることが難しい為、zoomでの会議を検討中している。リアルタイムでの意見交換を行う。会議内容を地域の方々へ発信し理解者を増やしていく。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月